

過去の「みどころ」はHPの2ページ目以降にあります



メジロ(メジロ科)

第3駐車場横のサザンカでメジロが群れて、蜜を吸っています。



コゲラ(キツツキ科)

日本に生息する最も小さいキツツキです。枯れ枝の中にある虫を食べています。



シジュウカラ

(シジュウカラ科)

ヤマガラ、エナガと共に、園内でよく出会う野鳥です。餌を探しています。



ヤマガラ

(シジュウカラ科)

園内でお馴染みのヤマガラが、モミジバフウの種を食べています。



ルリビタキ(ヒタキ科)の雄

人気者の冬鳥で、今季は森のバーベキュー広場周辺の林や通路でよく見かけます。比較的暗めの林が好みです。

ジョウビタキは雌雄とも明るい林が好きです。



ジョウビタキ
(ヒタキ科)の雄

笹にとまっていた雄が突如体を反転させてヘクソカズラの実をゲットしました。



ジョウビタキ
(ヒタキ科)の雌

頭が白く顔が黒くて目が目立ちにくい雄と比べて雌は頭部が淡褐色で可愛い目がよく目立ちます。雄雌とも、羽根の白い斑紋が特徴です。



エナガ(エナガ科)

シジュウカラ、ヤマガラや時にはコゲラも群れて園内を飛び回っている(「混群」と言います。)のをよく見かけます。



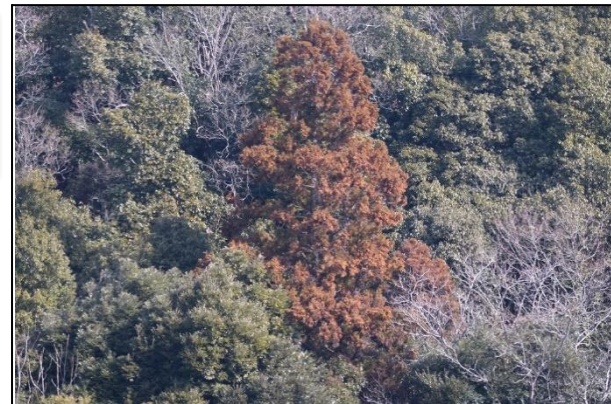
シロハラ(ツグミ科)

シロハラを観察したい場合、林内の落ち葉をひっくり返して虫や落ちた実を食べるなど地上にいることが多いのですが、木の枝にもよくいるので、樹上にも注意をはらってください。



キイロスズメバチ
(スズメバチ科)の巣④

アカマツに令和6年夏季に作られた園内最大級のキイロスズメバチの巣の現状の写真です。巣の中には既に蜂はいません。段々と朽ちてきていますが、中には蜂の巣のハニカム構造(右上の写真)がはっきりと見られます。



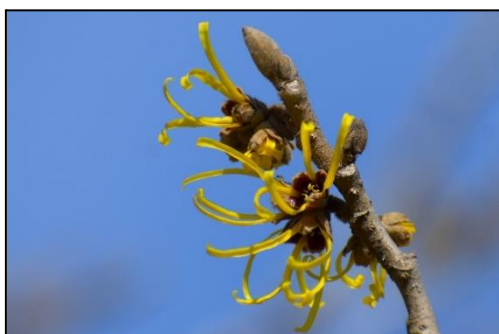
スギ(ヒノキ科)⑤

スギの「紅葉」について。スギは常緑樹ですが、冬季に葉が赤くなります。スギは品種がはっきりしており、品種毎に冬季の赤い色が微妙に異なります。



ソシンロウバイ
(ロウバイ科)①

甘い香りを放ち、花卉内側まで黄色いソシンロウバイが咲き始めました。



マンサク
(マンサク科)②

エントランス広場で、早春に咲く花の代表であるマンサクが咲き始めました。



ヒメガマ
(ガマ科)の穂③

因幡の白兔の伝説にある「ガマの穂」と同様の「穂」がヒメガマにも出ています。